**ハンドマイク街頭演説原稿例　　五輪中止・コロナ収束に全力を**

二〇二一年七月二八日　日本共産党埼玉県委員会・作成

ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、東京五輪が開会した後も、新規感染者が増え続けています。２９日時点で都内の新規感染者数はとうとう３０００人を上回りました。埼玉県でも、過去最多を超えて６００人に迫るなど、変異株による感染がかつてない規模とスピードで広がっています。

この間、日本共産党は東京五輪を開催すれば、行動抑制を求めるべき国民に誤ったメッセージをあたえ、感染抑止のための協力が得らえなくなると繰り返し主張してきました。東京五輪を強行開催した後の感染爆発ともいうべき深刻な事態は、まさにこの警告が現実となったのではないでしょうか。東京都では、手術の延期や入院制限など通常医療が圧迫されるほどの医療ひっ迫が進む中、このまま五輪を続けていいのか。このことがいま正面から問われています。埼玉県内でも、余裕のない医療体制がさらにひっ迫・崩壊し、現役世代も含めて、助かる命が助からない事態に陥る恐れがあります。いまになっても「五輪中止の選択肢はない」と五輪に固執する菅首相の責任はきわめて重大です。菅首相と自民・公明は、ただちに国会を開き、ワクチンの安定供給、大規模検査の実施、営業とくらしの補償、医療機関への支援などコロナ収束のための対策をしっかり議論すべきです。日本共産党は、何よりも命を最優先する立場から、今すぐにでも五輪開催の中止を決断するよう引き続き強く求めていきます。みなさんのご支援をよろしくお願いします。

　みなさん、菅政権が五輪開催に固執するなか、国民のくらしや雇用、飲食店はじめお店の営業は限界を超えつつあります。「自粛」に協力してきたお店も、閉店・休業が増え続け、一方でやむにやまれず営業に踏み切るところもうまれています。埼玉県は、協力金の支給の迅速化や補助上乗せなど営業を守るために努力を続けています。しかし、いま、本当に必要なのは営業を維持できるようなしっかりとした継続的な営業支援です。日本共産党は、第２弾の持続化給付金や家賃支援金の支給を国にあらためて強く求めていきます。持続化給付金の再支給を求める署名も始めました。事業者はじめ、みなさんと力をあわせてがんばります。自民党政治を変え、くらしと営業を守るため、ともにがんばりましょう。

　みなさん、先日の都議選では、１人区、２人区などで野党間の候補者調整など野党共闘が大きく前進し、日本共産党候補にとっても、他の野党候補にとっても選挙勝利の大きな力となりました。野党共闘が実現すれば、総選挙でも、野党統一候補が勝利する小選挙区が必ず増えます。野党共闘を進め、数か月後に迫った総選挙で政権交代を実現するためにも、野党共闘の要となる日本共産党にぜひみなさんのお力をお貸しください。党の政策は党ホームページなどでもご覧いただけます。来る総選挙では、比例代表で日本共産党を大きく伸ばしてください。みなさんの大きなご支援を重ねてお願いします。

　最後に、スクープ連発で広く注目をあつめている「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひご購読いただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）